

2020年9月 高岡ケーブルネットワーク番組審議会

1. 開催日時 2020年9月30日(水) 午前10時30分
2. 場所 トナミ商事ビル3階会議室
3. 出席委員(敬称略)

清都勢憲(戸出ジェラート代表 戸出町観光案内所)

坂口剛史(高岡商工会議所青年部 前会長)

曾田朝子(伏木地区ボランティアかたかごグループ顧問)

新田泰弘(高岡市市長政策部 広報情報課長)

林 昌男(高岡御車山会館館長)

氷見哲正(高岡市芸術文化団体協議会会長)

開 洋子(高岡熱中寺子屋 事務局長)

高岡ケーブルネットワーク出席者

山口伸一 代表取締役社長 森田和明 専務取締役 田中勇人 執行役員制作部長

岸哲也 制作部課長(事務局) 小林佑佳(制作部 書記)

議事

1. 2020年4月～9月までの番組制作について

【事前視聴番組】

- ・学習支援番組・教職員メッセージ(小中学校の臨時休校期間中 4月23日～5月31日放送)
- ・高岡-i地域ニュース&話題(5月25日放送) ・Do you know エネル原人(第1回・第5回)
- ・ちょいたび「謎の光を追う！」 ・昭和平成令和の御車山祭を語る
- ・あすの笑顔のために(県ゆかりの著名人によるメッセージキャンペーン)

2. 今後の番組制作について

- ・万葉集全20巻朗唱の会中継の今後について(2020年はイベント中止で動画リレー)
- ・歴史都市高岡ふしぎ帖「高岡の世界人編」(高峰譲吉/林忠正)を予定
- ・少年野球大会(主催事業)10月31日に決勝生中継

委員からの意見

- ・コロナ禍で学校の臨時休校中、市教委の要請を受けて学習支援番組を放送したことは地域放送局として評価できる。登校できない児童生徒に向けて各学校の教職員が送ったメッセージビデオも趣向を凝らしていて、印象に残った。
- ・学習支援番組は学年別になっていたが、学年に関係なく、低学年と高学年ぐらいに分けて、児童生徒がどれを見ても楽しめるような内容になればなおよかった。
- ・教職員のメッセージの中に、熱中していた自分の子供時代を語るものがあった。大人になった先輩たちの昔と今を紹介する番組があってもいいのではないか。

- ・山から見える光の謎を追う「ちょいたび」は、みんなが知らない話題を取り上げていて、太陽光発電所のパネルに行きつくまでを謎解きのように展開していて面白かった。
- ・高岡御車山祭の歴史を聞くインタビュー番組は、過去の映像をもっと活用してまとめてほしかった。また一人の証言では個人の思いや意見で偏るため、複数の証言を集めて構成するともっとよかった。
- ・「エネル原人」は高岡市内の身近なところでユニークな人物を発掘してきて紹介するというのはよい。ただ、これが続けていけるのか少し心配だ。みんなが知っているように実は深く知らない、全国で活躍する高岡出身者あるいは海外で活躍する高岡出身者を取り上げる視点があってもいい。
- ・「エネル原人」で取り上げる人物の平均年齢が高いのではないか。若い世代の意見をもっと聞いて、若い世代が見たいと思う企画や地元にもっと興味を持つことができる企画も考えてほしい。
- ・コロナ禍で先行きへの不安を感じている人が多い。沈んだ気持ちを盛り上げるような明るい話題や子どもたちが希望を持てる番組にしてほしい。
- ・コロナ禍が落ち着きつつあり、遠出ではなく近場への外出が徐々に増えつつある。近隣地域の情報を伝える番組を、近隣のケーブルテレビ局と連携して放送してほしい。
- ・万葉集全20巻朗唱の会はこれまで水上舞台で三昼夜連続で行いケーブルテレビも三昼夜連続で中継してきた。コロナ禍で動画によるリレーは、今後のあり方を考えていくいい機会になる。
- ・「歴史都市高岡ふしぎ帖」の「高岡の世界人編」（林忠正 編）の制作にあたり、参照する資料によって人物像が異なる懸念があるので注意が必要。

(了)